

ワークショップ『社会教育による次世代育成について』

◆趣旨

第33期新潟市社会教育委員会議建議「社会教育による次世代育成について」を有益なものとするため、社会教育関係者同士による意見交換を行い、次世代育成についての理解を深め、参加者の活動へつなげる。

- ① 建議「社会教育による次世代育成について」について、社会教育関係者に周知する。
- ② 異なる活動分野の社会教育関係者がつながる機会を提供する。
- ③ 次世代育成に向けて何をしていくべきかを考え、参加者の活動分野での実践に向けた意識付けの機会とする。

◆期日

令和3年9月28日（火） 14:00～16:45

◆会場

黒崎市民会館ホール、講座室1、講座室2

◆参加対象者

公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、ユースアドバイザー、社会福祉協議会職員、行政職員

◆参加人数

25～30名

⇒ 活動分野を分散して、4～5人程度でグループ分けする。（6グループを想定）

◆プログラム案（タイムスケジュールは別紙のとおり）

（１）あいさつ・オリエンテーション

（２）建議概要説明

（３）事例研究

・ワークショップにおける意見交換の材料とするため、次世代を「小・中学生世代」と「高校生世代」に分け、それぞれの活動事例を提供する。

・参加者には、下記の観点で自身の意見を付箋にメモしながら聞いてもらう

＜次世代を育成していくために・・・＞

- ・自身の活動に取り入れていきたい点
- ・自身のフィールドでどんな働きかけができるか
- ・事例の活動をより良くしていくためにできることは何か
- ・課題 など

（４）ワーク

・ゴールは「活動事例を参考に、参加者の活動の中で次世代育成につながる展開案・協働案を作成する」。

〔 参加者の活動をブラッシュアップした案（展開案）
活動事例に他分野の活動をコラボレーションさせた案（協働案） など 〕

・対象とする活動事例は、事例研究１、事例研究２、グループ参加者の活動から、グループ内で選択する。

・社会教育委員も参加者としてワークのグループに入る。

＜ワークの流れ＞

①アイスブレイク

・自分の活動において次世代育成のために取り組んでいること、取り組みたいこと、悩んでいることなどを含めた自己紹介を行う。

②ワーク

- ・対象とする活動事例をグループ内で協議し選択する。
- ・意見交換
- ・次世代育成につながる展開案または協働案をグループごと作成する。

③発表

（５）全体まとめ

◆事例研究

小・中学生世代と高校生世代に分け、事例を提供する。

<参考：過去の研究事例>

1. 小・中学生に関連する活動例

- ① 出動！西区地域盛り上げ隊（中学生みらいデザイン編）【西区地域課、NPO 法人みらいず Works】
- ② 地域と学校パートナーシップ事業【地域教育推進課】
- ③ 視覚障がい者に対する講師お礼状の音声訳支援【ボランティア団体、社会福祉協議会】

2. 高校生に関連する活動例

- ① 南区コミュニティ・コーディネーター育成講座【白根高校、白根地区公民館】
- ② しろねこ共育イベント【白根高校、南区産業振興課、白根地区公民館】
- ③ 日本文理高校 地域の茶の間、こども食堂【日本文理高校、NPO 法人みらいず Works】